

スポーツコンプレックス推進事業

令和8年度予算額
(前年度予算額)

171,123千円
191,123千円)



背景・課題

- スポーツを核に地域に賑わいをもたらすまちづくりを目指し、これまでのスタジアム・アリーナ改革をさらに発展させ、施設等を総合的・複合的に整備・活用すべく、十分なエリアマネジメントがなされた「スポーツコンプレックス」を推進することが重要である。
- 建設費高騰等もある中、今後更に各地に取組を広げていくためには、スポーツ振興を目的とした施設のみの整備にとどまらず、多様なステークホルダーが連携しながら、官民連携の下、一層まちづくりと一体的に取り組んでいく必要があり、先進事例の形成に加え、スポーツコンプレックスの考え方について全国的な普及活動等が重要である。



事業内容

① 基本構想・計画策定及びまちづくりとの連携等支援事業

86,322千円

【構想・計画】

- スポーツコンプレックスやその前段としてのスタジアム・アリーナを活用したまちづくりに資する基本構想・基本計画の策定支援

【まちづくり連携】

- 既存のスタジアム・アリーナやプロスポーツ等の活用・連携による、スポーツコンプレックスの実現・発展に資するまちづくりと連携した取組等への支援

- 【委託先】：地方自治体及び法人格を有する団体（委託） 【件数】：構想・計画 15,000千円程度×3件 まちづくり連携 15,000千円程度×3件

② スポーツコンプレックスのプロモーション・普及事業

39,291千円

- スポーツコンプレックスに資するスタジアム・アリーナを活用したまちづくりや多様な主体の連携促進に資する取組の選定、表彰、その評価ポイント等をまとめた事例集の作成等
- スポーツコンプレックス等の推進を検討している自治体や団体等からの相談受付、専門家の紹介、シンポジウムやワークショップ等を通じたスポーツコンプレックスの発信・展開等

- 【委託先】：スポーツ関連産業のコンサル等実績のある民間事業者（委託） 【件数】：39,291千円 × 1件

③ スポーツコンプレックスがもたらす経済波及効果等調査事業

45,510千円

- 国内外の事例調査及び効果検証等、スポーツコンプレックスがもたらす経済波及効果等に関する調査を実施
- スポーツの成長産業化に向けた中長期的な政策目標等に係る調査・検討を実施
- スポーツ団体がテクノロジーの活用を通じて、スポーツDXの推進や新たなビジネスモデルの構築を図るための調査を実施

- 【委託先】：スポーツ関連産業のコンサル等実績のある民間事業者（委託） 【件数】：45,510千円 × 1件

【前年度限り】 ○スポーツコンプレックスに関する調査事業 ○スポーツを核としたまちづくりに資するテクノロジー活用支援事業